

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（保健体育）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は4問3ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和 6 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校 保健体育

1 中学校学習指導要領解説「保健体育編」について、(1)～(4)に答えよ。

(1) 次は、「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成」についての一部である。下の①～③に答えよ。

(1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の A 主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他の課題を発見し、その (a) な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう (b) すること。

(2) 授業時数の配当については、次のとおり扱うこと。
 ア 保健分野の授業時数は、3 学年間で (c) 単位時間程度配当すること。
 イ 保健分野の授業時数は、3 学年間を通じて適切に配当し、各学年において効果的な学習が行われるよう考慮して配当すること。
 ウ 体育分野の授業時数は、各学年にわたって適切に配当すること。その際、体育分野の内容の「A 体づくり運動」については、各学年で (d) 単位時間以上を、「H (e)」については、各学年で3 単位時間以上を配当すること。
 エ 体育分野の内容の「B (f)」から「G ダンス」までの領域の授業時数は、それらの内容の習熟を図ることができるよう考慮して配当すること。

(3) B 障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた (g) や指導方法の工夫を計画的、(h) に行うこと。

① a～h にあてはまることばと数字を、それぞれ記せ。

② 下線部 A について、次の文の i にあてはまる三つのことばを記せ。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるに当たり、特に「深い学び」の視点に関して、各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」である。各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を、(i) という学びの過程の中で働かせることを通じて、より質の高い深い学びにつなげることが重要である。

③ 下線部 B について、次の文の ii にあてはまることばを記せ。なお、ii には同じことばが入るものとする。

特に、保健体育科においては、実技を伴うことから、全ての生徒に対する健康・安全の確保に細心の (ii) が必要である。そのため、生徒の障害に起因する困難さに応じて、複数教員による指導や個別指導を行うなどの (ii) をすることが大切である。

- (2) 次は、「〔保健分野〕2 内容 (1) 健康な生活と疾病の予防」の一部である。下の①～③に答えよ。

(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(ア) 健康は、主体と (a) の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と (a) の要因が関わり合って (b) すること。

(イ) 健康の保持増進には、(c)、生活環境等に応じた運動、A 食事、休養及び睡眠の (d) のとれた生活を続ける必要があること。

(ウ) 生活習慣病などは、(e)、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の (f) が主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の (d) のとれた生活を実践することによって予防できること。

- ① a～fにあてはまることばを、それぞれ記せ。なお、同じアルファベットには同じことばが入るものとする。
- ② 上記の(ア)と(ウ)を取り扱う学年を、それぞれ記せ。
- ③ 下線部Aについて、「保健体育編」には、次のような記述がある。iとiiにあてはまることばを、それぞれ記せ。

食事には、健康な身体をつくるとともに、運動などによって消費された (i) を補給する役割があることを理解できるようにする。また、健康を保持増進するためには、毎日適切な時間に食事をする事、年齢や運動量等に応じて栄養素の (ii) や食事の量などに配慮することが必要であることを理解できるようにする。

- (3) 次は、「G ダンス [第3学年] (1) 知識及び技能」である。a～eにあてはまることばを、下の①～⑩からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

(1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで (a) に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、(b) の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。

ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急 (c) のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。

イ フォークダンスでは、日本の民踊^よや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的な (d) や動きと組み方で踊ること。

ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化と (e) を付けて、リズムに乗って全身で踊ること。

- | | | | |
|--------|------------|--------|-------|
| ① 一斉 | ② 仲間の観察 | ③ ステップ | ④ ビート |
| ⑤ 高低 | ⑥ まとまり | ⑦ 自由 | ⑧ 強弱 |
| ⑨ 運動観察 | ⑩ シンクペーション | | |

- (4) 次は、「A 体づくり運動 [第1学年及び第2学年] (3) 学びに向かう力, 人間性等」である。a～cにあてはまることばを, それぞれ記せ。

(3) 体づくり運動に (a) に取り組むとともに, 仲間の学習を援助しようとする事, 一人一人の (b) に応じた動きなどを認めようとする事, 話合いに (c) しようとする事などや, 健康・安全に気を配る事。

2 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) マット運動において, 倒立前転は何系の技か, 記せ。
- (2) 相撲において, 安全上の配慮から中学生以下で禁止されている技を一つ, 記せ。
- (3) サッカーにおいて, 自陣のペナルティエリア内で, 直接フリーキックに相当する反則を行ったときに, 相手チームに与えられるプレースキックを何というか, 記せ。

3 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 球技「バレーボール」の学習では, 空いた場所への攻撃を中心とした「ラリーの継続」についての学習課題を追究しやすいように, 工夫したゲームを取り入れることが大切である。その工夫したゲームを二つ, 記せ。
- (2) 水泳「平泳ぎ」の学習で, 「呼吸法を身に付けさせる」ための練習方法を二つ, 記せ。
- (3) 保健の学習において, 生徒の資質・能力の育成に向けた効果的なICT機器の活用例を二つ, 記せ。

4 次の(1)～(4)について, それぞれ簡潔に説明せよ。

- (1) ヘルスプロモーション
- (2) 身体的环境に対する適応能力
- (3) ピッチとストライド
- (4) 予防接種